

課題名	34 畳表の品質向上	分類	②
	染土の種類と畳表品質との関係		
試験研究年次	62~1年(完了)		
<p>I 目的</p> <p>染土の種類及び配合割合と畳表品質の関係を明かにするとともに、特に黒すじの発生についても検討し、畳表の品質向上を図る。</p>			
<p>II 試験研究方法</p> <p>1 供試いぐさ 普通刈栽培, 品種「いそなみ」</p> <p>2 供試染土 (1) 青染土; アサノ染土 (2) 白染土; 八女白染土、アサノ白染土、備後染土</p> <p>3 染土配合割合 青染土に対する白染土の割合 10%、30%、50%、100%</p> <p>4 染土液濃度 4kg/10ℓ</p> <p>5 選別長さ 105cm~120cm、120cm以上</p> <p>6 変退色調査 原草の中央部位(55~65cm)を厚紙に貼り、北窓自然光により変退色させ、経時的に主波長及び色差を測定した。</p> <p>7 畳表の評価 観察により最高5.0、標準3.0、最低1.0として評価</p> <p>8 黒すじ発生調査 片打ちした畳表で根元から10、55、90cm部位の黒すじ発生本数を調査し、その平均を発生数とした。</p>			
<p>III 主要成果の概要</p> <p>1 120cm以上選別いぐさの色調は青染土に対する白染土の配合割合が多いほど主波長が長くなる(黄色味が強い)傾向があるが、時間が経過するにしたがって配合割合による差は小さくなる。105~120cm選別いぐさでは染土の配合割合による一定の傾向はみられない(データ省略)。</p> <p>2 畳表の色調評価は、白染土の配合割合が多いものほど変退色前、後どちらも評価が高い傾向にある。</p> <p>3 黒すじの発生程度は120cm以上選別いぐさより105~120cm選別いぐさの方が多い。120cm以上選別いぐさでは白染土100%が黒すじの発生が少ないが、105~120cm選別いぐさでは黒すじ発生に明らかな傾向はみられない。</p>			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 主波長の経時変化と色差及び畳表の色調評価 (120cm以上選別、63年)

青染土に 対する 白染土の 染土名	配合割合	主波長 (nm) の経時変化と色差 (NBS)				畳表の色調評価		
		退色前	3週間後	2カ月後	3カ月後	色差	退色前	退色後
	100 (%)	568.2	570.7	574.2	576.4	12.06	4.0	3.8
八女白 染土	50	567.9	570.3	573.9	578.3	14.74	4.0	3.2
	30	567.8	570.3	573.5	575.5	14.91	3.5	3.2
	10 (標)	568.1	570.2	573.8	575.9	14.21	3.0	3.0
アサノ 白染土	100	568.4	571.1	575.3	576.9	12.30	5.0	3.5
	50	566.7	569.8	574.3	576.6	13.89	4.9	3.5
	30	566.9	570.0	574.0	576.0	12.66	4.6	3.8
	10	568.1	569.8	573.6	576.3	14.79	4.0	3.0
備後 染土	100	568.7	570.8	574.0	576.2	14.44	4.3	3.8
	50	567.9	570.2	573.9	576.1	14.26	4.1	3.4
	30	567.9	570.0	573.9	575.9	14.88	4.1	3.4
	10	567.1	569.9	573.8	576.2	13.98	4.0	3.4
アサノ染土		567.0	569.8	573.8	576.4	13.48	3.0	3.0
無染土		568.2	570.6	574.8	577.3	16.57		

第2表 染土の種類と黒すじ発生との関係 (片打ち表、1年)

染土名	配合割合	105~120cm		120cm以上	
		観察評価	発生割合	観察評価	発生割合
	100 (%)	3.8	13.95 (%)	3.9	0.44 (%)
八女白 染土	50	3.2	12.94	3.0	0.95
	30	3.7	12.05	3.2	0.48
	10 (標)	3.0	14.75	3.0	0.90
アサノ 白染土	100	4.3	13.50	4.3	0.57
	50	3.8	13.45	3.6	0.76
	30	3.6	12.88	3.5	0.73
	10	3.0	13.98	3.3	0.70
備後 染土	100	4.0	9.80	3.7	0.16
	50	3.5	11.96	2.9	1.37
	30	2.9	13.00	3.1	0.82
	10	2.8	14.28	2.9	2.24
アサノ染土		2.2	14.10	2.4	2.83
無染土		2.1	12.95	2.1	1.98

注) 観察評価は最高 (黒すじ発生が少ない) を 5.0、標準を 3.0、最低を 1.0として評価

V 成果の評価と取扱上の留意点

畳表の品質向上を図るための資料となる。

VI 今後の研究上の問題点 黒すじの発生原因

VII 資料名

- 1 昭和62年度 福岡県農業総合試験場筑後分場 いぐさの加工に関する試験成績書
- 2 昭和63年度 福岡県農業総合試験場筑後分場 いぐさの加工に関する試験成績書
- 3 平成元年度 福岡県農業総合試験場筑後分場 いぐさの加工に関する試験成績書